

脚本・絵 きくち かずみ

「おばあちゃんは畑へいく」

①

おばあちゃんは 畑へ いく。
トコトコトコ。
麦わらかぶり、首にはタオル。
手ぶくろもして、長ぐつはいて。
今日も楽しい。
ランランラン♪

(おばあちゃん)

「急がなきや。

みんな 待ってるだろうよ。

畑は、おしゃべりなかまで

いっばいだ」



演出ノート

トコトコトコに合わせ
画面を小さく上下する

楽しそうに

(おばあちゃん)

「トントントン」

じゃがいもの お兄さんたち——

土の下で、大きくなっているかい？

ウン？

まだ葉っぱが みどり。

茶髪ちやぱつになって、茎くきが倒れるたおまで

待っておくれ……って？

そうかい、そうかい。

早くしておくれ。

孫がね

大好物のコロツケを

今か今かと、待っているんだよ」



(おばあちゃん)

「あららあ。

きゅうりと、にがうり。

けんかするんじゃないよ。

人間みために、戦争するのは

大ばかもん。

きゅうりのつるは、右。

にがうりは、左。

ほうら、上までのぼれるようになったら。

まあ、きゅうりちゃん。

もう小さな実をつけてるね。

一番なりは、早く取らなきゃ。

おばあちゃんが いただきまーす」

(次画面予告。印^{しるし}まで抜く)



怒りながら

参加型でする時は
きゅうりの赤ちゃんが
どこか当たってもらおう

印^{しるし}まで抜く

バッタの手前で止める

(おばあちゃん)

「こらっ、バッタ!

あっちへおいき。

怒りながら

私の大切なお友達を

もりもり食べるんじゃないよ。

それえっーバッタに **でこピン**」

でこピンは
大声で元氣よく!

—— 全部抜く ——

さっと抜く

『ピュ〜〜ン』

『ピュ〜ン』は
バッタが**でこピン**で
遠くへ飛ばされる音



(おばあちゃん)

「がんばり屋だねえ。ハヤトウリ君。

もう三年目だよ。

今年も同じ場所から、芽を出して。

『こんにちは』

待っててね。

棚たなを作ったてあげるから。

あなたは、実をつけるのが一番遅い子。

ゆっくり、たくさんうりを育ててね」

(次画面予約。印しるしまで抜く)



ハヤトウリ

熱帯アメリカ原産の
ウリ科植物

別名 千成瓜せんなりうり

種たねで育てず
実をそのまま植えて育てる
収穫は秋あき、晩秋ばんしゅう
新しい実を植うえなくても
数年同じ場所から
芽を出いることがある

⑥

—— 印まで抜く ——

おばけおくらの
手前まで抜く

朝露あさつゆで、おくらの葉はっぱは

ダイヤモンドの製造機せいぞうき。

おばあちゃんの指にコロコロ キラリ。

(おばあちゃん)

「まあ、なんてすてきな指輪かしら。

あららっおくらちゃん。

早く取ってあげなきゃね

明日になれば

おくらの実の成長は早く
数日取らないと
手の平大になる

—— 全部抜く ——

さっと抜く

おばけおくらの、でき上り〜」

でき上りできあがりは
しりあがりに大声で。



(おばあちゃん)

「あつ 見つけた、かぼちゃさん。
葉っぱの下でかくれんぼ。」

こんなに大きくなってるとるなんて、
ほんとに、上手に、かくれたね。

気合きあいを入れて、収穫だ。

みんなもいっしょに手伝っておくれ。

『それっ』

よっこらしよ、どっこいしよ。

よっこらしよ、どっこいしよ』

あー重たかった」



かけ声を参加型にできる。
いろいろなかけ声を
みんなで考えたり
声を合わせ演じたりする。

又、かけ声に合わせ
画面を上下して動かして
演じる。

まだかかっている
かぼちゃを当ててもらう。
全部でいくつかな

(答)かかっているのは三個

(おばあちゃん)

「まあまあかわいいそうに。

真赤まっかに熟うれたミニトマト。

雨でお顔に線が入ったね。

私の雨がさ かしてあげる。

大丈夫。

お顔に線が入ったって、

あなたは、おいしいミニトマトちゃん。

すてずに、ちゃんと、食べますよ。

ジュースに、ケチャップ ドライトマト、

私に変身させてあげようね」



トマトの実は
雨に当たると
割れることがある。

(おばあちゃん)

「ふしぎだねえー。」

畔あぜに咲ひがいてる彼岸花ばんばな。

離はなれているのに、咲はなくときいつしよ。

どうして連絡れんらくするんだい。

ちようちよさんの郵便屋ゆうびんや？

とんぼさんの糸いとでんわ？

私わたしにだけ教えてくれる？

いっせいのーで咲はなく ひ・み・つ」



(おばあちゃん)

「さあ次は、

みょうがの森の探検だ。

茎くきの下を見てごらん。

もっともっと下だよ。

ほら、みょうがの頭がによつきりこ。

ねじって、ひっぱってー

さあ、とれた。

私じゃ毎年みょうがの酢づけ、

百個食べるが物もの忘わすれしないよ」



みょうがを
たくさん食べると
物もの忘わすれするという
いい伝えがある

(おぼあちゃん)

「みょうがの森は、ふしぎがいっぱい。
かたつむりの空屋あきやがコロリン。
ゲジゲジおやじや とかげのしっぽが
するりん。

お日さまにかくれて、私にかくれて、
きつと、パーティしてるんだ。

おやおや カエル君！

みょうがのパラソルでひと休みかい？

どうぞケロケロ鳴いとくれ。

ひと雨くれば

私の水やり 楽になる」



おばあちゃんは畑へいく。

トコトコトコ。

水とう持って、あめ玉^{だま}持って。

(おばあちゃん)

「あーあー

こんな日は幸せだねえ

平和はいいよねえ」

おばあちゃんは知っている。

戦争だったあの日、

ひいおばあちゃんの畑に ピッカ・ドーン。

ひいおばあちゃんも 畑も

一瞬で消えたことを。

おばあちゃんは畑へいく。

トコトコトコ。

(おばあちゃん)

「あーあー

こんな日がずうーっと続くと、

本当にいいのにねえ」



トコトコトコに合わせ
画面を小さく上下する

ピッカ・ドーンは
大声で演じる

一九四五年、
第二次世界大戦の終わり、
日本は原子爆弾を二度
落とされ、たくさんの人
たくさんの生き物
たくさんの植物が
一瞬で消えてしまった。

トコトコトコに合わせ
画面を小さく上下する